

湯浅町の結果について

湯浅町教育委員会

はじめに

平成29年4月18日（火）、全国の小学6年生・中学3年生を対象に学力・学習状況調査が行われ、町内のすべての小・中学校が参加しました。湯浅町における学力・学習状況調査の結果概要をお知らせします。

文部科学省は、本調査の目的を「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」としています。

湯浅町においても、教育委員会では、町内各小・中学校の学力の状況を把握するため、全国学力・学習状況調査に加え、独自の学力調査（小学校全学年、中学校1・2年）の実施や、学校訪問による指導、各小・中学校の学力の状況や学力向上を推進する取組を交流したり町としての今後の取組の方向性について協議する学力向上推進委員会を開催するなど、これまでの取組の成果と課題を検証するとともに、町全体の学力が向上するために何が必要かを考え、「湯浅の底力を上げる」ために、様々な取組をすすめています。

各小・中学校においても、全国学力・学習状況調査をはじめ、町独自の学力調査や県の学習到達度調査、日々の学習状況などから児童生徒の実態を把握・分析し、めざす方向性を共有しながら学力向上に向けてPDCAサイクルで計画的に取り組むことに努めています。児童生徒一人一人の学習状況をみとり、校内授業研究の充実や授業の校長・教頭や職員相互による参観による教員の授業力向上、様々な問題を用いて強みをさらに伸ばしたり、課題の見られるところを学びなおしたりする基礎学習や補充学習の充実、自主的な学習の定着を図る家庭学習の充実などに取り組み、児童生徒に対する教育指導の一層の充実や学習状況にみられる課題の改善を日々すすめています。

なお、文部科学省は、「全国学力・学習状況調査の結果については、学力の特定の一部であること、学校における教育活動の一側面であること」と明示しています。湯浅町においても、教育委員会及び各小・中学校では、様々な学力調査の結果からこれまでの取組の成果や課題を分析し、今後の改善や教育指導の充実に活用することはもちろんのこと、こうした学力調査の結果が学力のすべてを表しているとは限らないということも意識しながら、児童生徒の学力を多角的・多面的な目でとらえ、より一層の湯浅の教育の充実に努めてまいります。

平成29年10月 湯浅町教育委員会

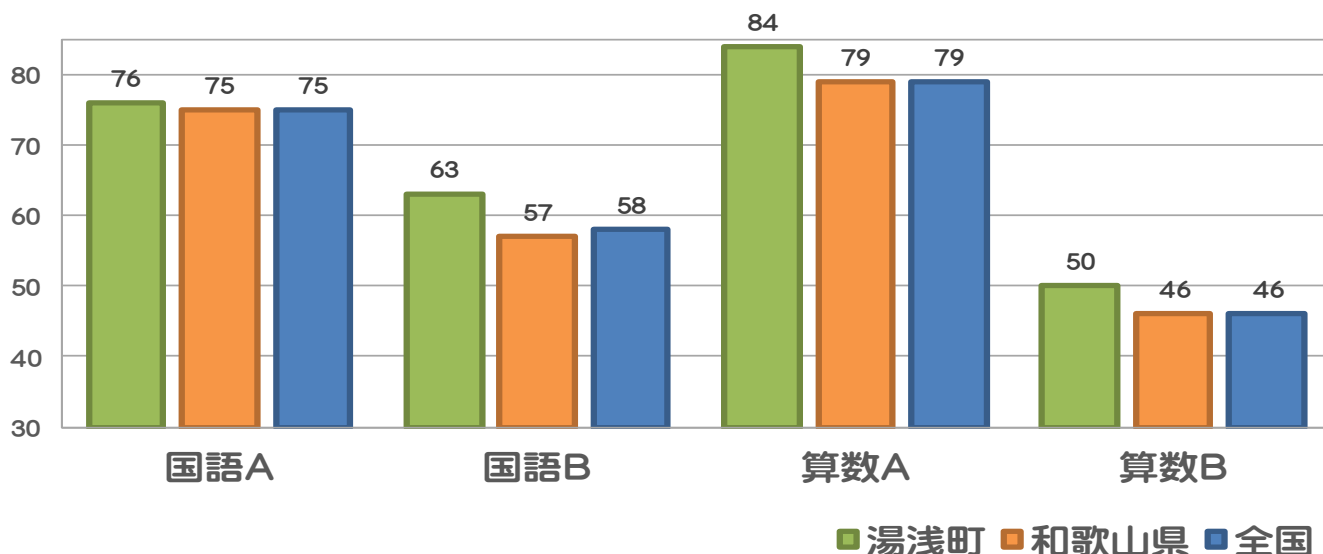
「国語」、「算数・数学」の A問題 と B問題 について

A問題=主として「知識」に関して、基礎的・基本的な力がどれくらい身に付いているのかをみる問題です。

B問題=主として「活用」に関して、学習した内容を実生活の中で活用する力がどれくらい身に付いているのかをみる問題です。

小学6年生「国語」「算数」の結果から

① 小学6年生 全体の傾向 平均正答率 (%)



全国、和歌山県の平均正答率と比べて、国語A・B、算数A・Bのすべてで上回っています。着実に学力が身につけてきています。また、これまでの調査において課題が見られることが多かった「記述式で回答する」問題についても、すべての教科で全国平均正答率を上回りました。一方で、国語における「言語についての知識・理解・技能」や算数科の「割合」の問題で課題がみられる箇所もあります。

1. 「国語」の傾向

全国平均正答率との差 (%)

観 点	国語A	国語B
関心・意欲・態度		◎8.3
話す・聞く能力	◎7.5	◎4.4
書く能力	◎7.1	◎6.4
読む能力	◎6.2	◎6.8
知識・理解・技能	-0.3	

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

A問題

◎特によい結果がみられた問題は、

- ・「話し合いにおける報告の説明として適切なものを選択する」
 - ・「目的や意図に応じて、書かれている内容の中心として適切なものを選択する」
 - ・「俳句の情景について考えたこととして適切なものを選択する」
- ☆ 適切な回答を選択する問題で特によい結果が表れています。話す内容や書く内容、読む内容について、正しく捉えられている様子がうかがえます。

▼特に課題がみられた問題は、

- ・「ことわざの使い方として適切なものを選択する」
 - ・「漢字を読む」「漢字を書く」
- ★ 基礎的な言葉や表現、漢字について、文章中や生活の中で正しい使い方をするという点で課題がみられます。

B問題

◎特によい結果が見られた問題は、

- ・「目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書く」
- ・「物語の叙述に基づき、理由を明確にして、自分の考えをまとめて書く」
- ・「話し合いをする場面の文章を読み、書かれている発言の意図として適切なものを選択する」

☆ これらの問題の中に、正答率自体は低い問題もあります。目的や意図、条件に応じた作文力や、自分の考えを適切に表現する力、話し合いの目的に応じて図的に発言する力など、継続して向上に取り組んでいく必要があります。

2. 「算数」の傾向

全国平均正答率との差(%)

	算数A	算数B
関心・意欲・態度		
見方や考え方		◎4.6
技能	◎6.4	
知識・理解	◎3.8	0.5

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

A問題

◎特によい結果があらわれた問題は、

- ・「たし算とかけ算が混ざった整数と小数の計算」
- ・「商を分数で表すこと」
- ・「円を使って正五角形を描くときに円の中心の周りを何度にするばよいか」
- ・「立方体の展開図から平行な面を見つける」

☆基礎的な力の定着がうかがえます。

B問題

◎特によい結果があらわれた問題は、

- ・「2つの数量関係について、そのきまりを見つけ、記述する」
- ・「仮の平均を用いた考え方を解釈し、示された数値を基準とした場合の平均の求め方を記述する」

☆与えられた情報を論理的に考え、その道筋を記述するという点について、力が向上してきた様子がうかがえます。

▼特に課題がみられた問題は、

- ・「基準量と割合を身近なものに置き換え、それをもとに比較量を判断し、その判断理由を記述する」

★算数的なことを身近なものに置き換える機会が少ないことがうかがえます。また、「14%」を「0.14」ではなく「1.4」として計算している誤答例も多く、百分率についての知識・技能の定着にも課題がみられました。

② 今後の取組について

「国語」

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

- ・「書く活動」
- ・「話す・聞く」活動
- ◆読み手や聞き手への意識、伝えたいこと
・目的・意図をしっかりとらえたうえで内容を考える指導
- ◆文字数などの条件にあてはまるように書いたり話したりする力をさらに伸ばす指導
- ・「読む活動」
- ◆文章について部分的な理解だけでなく全体的な内容の理解を図る指導
- ◆一つ一つの言葉に注目してじっくり読み自分の考えをより深めることができるような指導
- ・「言語についての知識・理解」
- ◆学習した漢字や言葉、慣用句を、生活場面や、他教科でも積極的に活用する

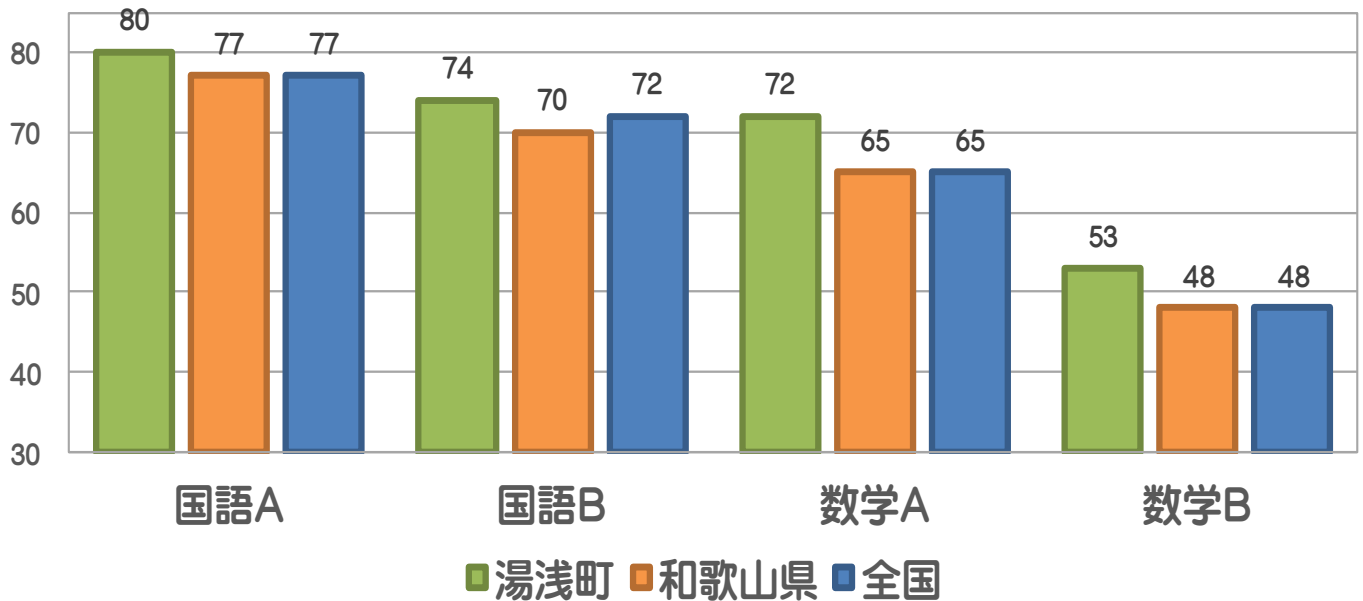
「算数」

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

- ・「割合」の応用
- ・昨年度も、「1を超える割合を百分率で表す場面における基準量と比較量の関係の理解」「全体の大きさに対する部分の大きさを表す割合の意味の理解」に課題がみられた。
- ◆「基準量」や「比較量」を基にした「割合」の意味を、算数的な活動を通して実感的に理解できるような指導
- ◆生活場面で積極的に「割合」など算数の学習内容を活用する機会の充実
- ・基礎的な力が見についていれば素早く回答できるような選択問題では、概ねよい結果がみられたが、問題文や図などをじっくりと読み解き、それらを積み重ねながら考え説明することについては課題
- ◆数学的な活動をより一層充実させる
- ◆数学的な用語を用いて方法や理由を説明したり、問題文や図などにじっくりと向き合う指導

中学3年生 「国語」「数学」の結果から

① 中学3年生全体の傾向 平均正答率(%)



全国や和歌山県の平均正答率と比べて、国語A・B、数学A・Bのすべてで、全国平均正答率を上回っています。着実に学力が身につけてきています。また、無回答率が全国に比べて低く、最後まで粘り強く取り組んでいる様子が見えます。

1. 「国語」の傾向

全国平均正答率との差(%)

	国語A	国語B
関心・意欲・態度		0.3
話す・聞く能力	2.4	1.9
書く能力	2.4	2.2
読む能力	◎3.1	0.5
知識・理解・技能	◎3.3	▼-4.4

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

2. 「数学」の傾向

全国平均正答率との差(%)

	数学A	数学B
関心・意欲・態度		
見方や考え方		◎5.8
技能	◎9.3	1.2
知識・理解	◎5.0	◎6.4

3%以上高い◎ 3%以上低い▼

A問題

◎特によい結果があらわれた問題は、

- ・「話すときに、相手にわかりやすいように言い直す」
- ・「意見交流の場面を読み、その様子について説明したものと適切なものを選択する」
- ・「楷書と行書の違いについて理解する」

▼特に課題がみられた問題は、

- ・「漢字を書く」「語句の意味を理解する」
- ★よく書けている漢字とそうではない漢字、よく理解している語句とそうではない語句に差が見られたり、古典の種類の理解に課題がみられたりしました。

B問題

◎特によい結果があらわれた問題は、

- ・「話の論理的な構成や展開などに注目し、聞き手が話し手に伝えようとしていることをとらえる」
- ・「集めた材料を整理して、文章を構成する」
- ・「アンケートについて、目的に応じて対象や質問内容を考え、その理由を書く」

▼特に課題がみられた問題は、

- ・「比喩を用いた表現に着目し、感じたことや考えたことを書く」
- ★「比喩」という言葉の意味が理解できず、条件にあてはまるように書くことができていない誤答が多くみられました。

A問題

◎特によい結果があらわれた問題は、

- ・「文字を用いた式や方程式などの基礎的な計算」
- ・「多角形の内角の和の求め方の理解」
- ・「比例のグラフや傾き・切片の値をもとに、関係式を表す」
- ・「空間における直線と平面の平行についての理解」
- ・「反比例の表から比例定数を求める」

▼特に課題がみられた問題は、

- ・「錯角」「関数」「範囲」といった数学的用語の理解

B問題

◎特によい結果があらわれた問題は、

- ・「与えられた模様について、図形の移動に着目して観察し、対称性を正確にとらえる」
- ・「与えられた情報から必要な情報を選択し、事象に即して解釈する」
- ・「資料から必要な情報を適切に読み取る」

② 今後の取組について

「国語」

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

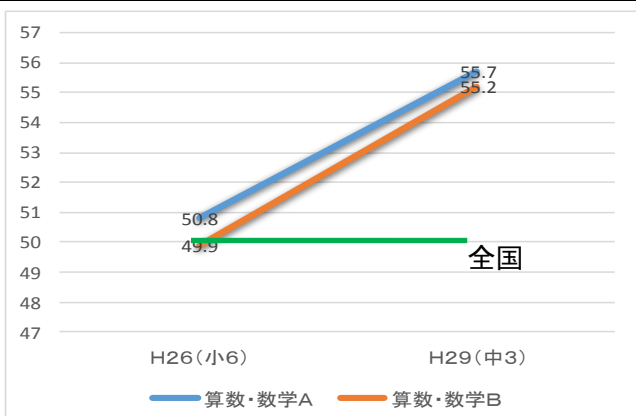
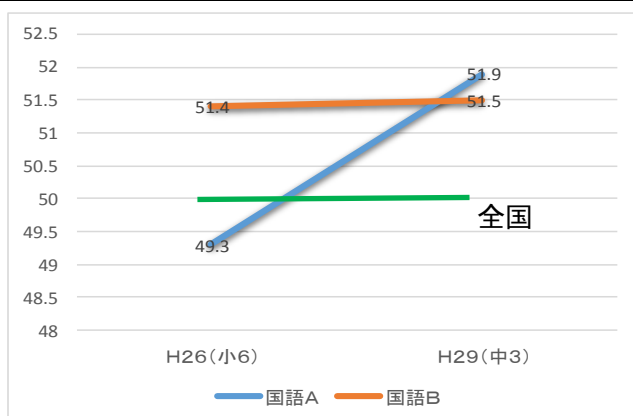
- ・「言語に関する知識・理解・技能」
- ◆国語でも数学でも、「記述式」で答える問題や、国語の「書く能力」を問う問題では全国平均正答率を上回っていたことから、日ごろから自分の意見や説明などを「書く」活動には意欲的に取り組み、力をつけている
- ◆国語・数学に限らず、どの教科においても様々な漢字や語句・表現に出会い、一つ一つの言葉にこだわったり、「書く活動」の際に学習した漢字や語句、表現をより積極的に活用したりする学習指導の充実

「数学」

課題がみられた点について、以下のような指導の充実を図ります。

- ・「数量や図形についての知識・理解」「数学的な技能」
 - ・数学的用語の意味が理解できずに、あるいは思いつきで回答した様子が見られる
- ◆数学的な用語を普段から用いて説明することや、問題の内容を実生活と結び付けるなど、生徒が内容をより理解しやすく、より活用できるような指導の工夫
- ◆友達と意見を交流したり、グループで協力して解答を出すといった活動を取り入れながら、自分の考えにさらに自信を持ち、より積極的に学習を進めることができるように、協調性も高める指導

③ H26(小6)時とH29(中3)時を比べてみると…



上のグラフは、今年度の中学3年生の平均正答率を、小学6年生時（平成26年度）と比べたものです。全国平均正答率を50（緑色の線）の基準量として、各調査の結果を算出しています。

○「国語A」＝ 小6時より全国平均正答率を上回っており、今回も同様に上回っています。

○「国語B」「算数・数学A及びB」＝ 小6時には全国平均正答率並みだったが、中3時には全国平均正答率を大きく上回り伸びを見せています。

☆小学校時より、地道に積み重ねてきたことが、中学校の取組でより一層満足できる結果として出た形です。このように、義務教育9年間の系統の中での学年ごとの指導の重点を明確にしながら「何を学んだか」「何を身に付けたか」を意識した取組を今後も進めていきます。

生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査について

学習意欲、学習方法、学習環境、生活等のいろいろなことをアンケート形式で答える質問です。

(例えば) 国語の授業は好きですか、授業の内容はどのくらい分かりますか、一日にテレビを見る時間、読書時間、勉強時間の状況など



質問紙調査の結果から

「小学6年生」について

質問項目	湯浅町	全国	差
朝食を毎日食べていますか	95.6	94.4	◎1.2
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	75.7	79.8	▼4.1
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.1	91.2	◎0.9
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	82.7	77.4	◎5.3
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。	51.3	52.2	▼0.9
友達話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	96.5	94.3	◎1.2
授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	72.2	82.8	▼10.6
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか。*2時間以上の割合	15.6	12.0	▼3.6
普段(月～金曜日)1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか。*2時間以上の割合	40.8	31.1	▼9.7
学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。 *全くしない割合	27.8	20.5	▼7.3
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日どれくらいの時間、勉強をしますか。 *全くしない割合	18.3	9.7	▼8.6
家で、学校の授業の予習をしていますか	33.9	41.0	▼7.1
家で、学校の授業の復習をしていますか	40.0	53.8	▼13.8

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

「中学3年生」について

質問項目	湯浅町	全国	差
朝食を毎日食べていますか	91.5	93.2	▼1.7
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	77.6	75.6	◎2.0
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	92.5	92.4	◎0.1
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	61.7	71.0	▼9.3
自分には、良いところがあると思いますか	53.2	70.7	▼17.5
友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか	40.5	50.5	▼10.0
友達話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができますか。	92.6	94.6	▼2.0
授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか	63.8	70.9	▼7.1
普段、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか*2時間以上の割合	43.6	37.6	▼6.0
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか *全くしない割合	10.6	10.0	▼0.6
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか *全くしない割合	34.0	35.6	◎1.6
家で、自分で計画を立てて勉強していますか	54.3	51.5	◎2.8
家で、学校の授業の予習をしていますか	29.8	31.7	▼1.9
家で、学校の授業の復習をしていますか	60.6	50.5	◎10.1

* 当てはまる、どちらかといえば当てはまると答えた割合

自主性・協調性について

○学習意欲・話し合う時の協調性について

「失敗を恐れずに挑戦する」について全国平均を大きく上回り、何事にも意欲的に取り組んでいる様子がうかがえます。話し合いでの協調的な力がある程度身に付いてきています。

一方で、自らの意見を言うことが苦手な児童がおり、さらに自信を深めさせていくことが必要です。

家庭での過ごし方について

○「早寝・早起き・朝ごはん」について

朝食、起床時間については全国平均を上回り、就寝時間については下回る結果が出ました。基本的な生活習慣のさらなる定着を図っていくことが重要です。

○「スマートフォン」や「テレビゲーム」について

平日「2時間以上」の割合が全国平均より高いです。

○「家で授業の予習・復習」について

読書の時間や休日の勉強時間についても、全国平均よりも下回っています。各校では自主的な学習の取組を進めていますので、自分が取り組んでいることにさらに自信をもち、より一層意識を高めていくことが必要です。

自主性・協調性について

○自主的な学習への意欲について

「難しいことでも挑戦する」「自分に良いところがある」「自分の意見を発表することが得意」といった点で全国平均を下回っていますが、「家での読書」「自分で計画を立てて勉強」「授業の復習をする」という点では上回っています。自らの取組に自信をもち、お互いに認め合いながらさらに意欲を伸ばすことが必要です。

家庭での過ごし方について

○「早寝・早起き・朝ごはん」について

就寝時間や起床時間に係る質問では全国平均を上回り、朝食については下回っていました。基本的な生活習慣のさらなる定着を図っていくことが重要です。

○平日や休みの日の勉強時間や読書への取組について
全国平均より上回っている点が多く、家庭学習に意欲的に取り組んでいることがうかがえます。

○「スマートフォン等の使用時間」について

全国平均よりも長くなっている状況です。時間だけでなく、使用時のルールや約束について話し合い、意識して使用していくことが必要です。